



## 沸き上がる歓声のなかで

東北自動車道が部分開通

埼玉県川口市を起点に青森市まで延長 680キロメートルをつなぐ東北縦貫自動車道一。その一関・盛岡南間の開通式が、11月19日、千田知事をはじめ、前田日本道路公団総裁、長谷川建設大臣、それに沿線市町村や用地提供者代表など約 600人の招待者が出席し開催。いよいよ本格的な高速交通時代の幕が切っておとされた。今回の開通部分は、区間距離が84.8キロメートル、幅員24.5

メートル、4車線、技術の粋を集めた安全設計ハイウェイで43年に工事着工以来9年余りの歳月と約 1,123億円の資本投下がなされている。これにより、一関以南の1部未完成部分(29キロメートル)を残して、埼玉県岩槻市まで 465キロメートル、全ルート約 680キロメートルが開通。その効果として、首都圏直結による産業、経済、文化など、県勢の飛躍的発展が期待されている。